

GREEN RADAR

Vol.483
2019

8

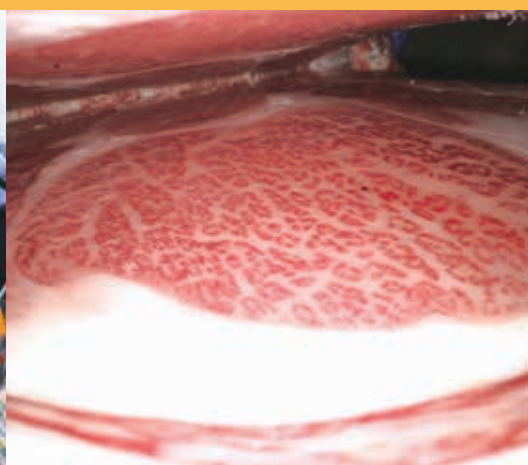
Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・令和元年度 米穀課事業方針
- ・令和元年度 生産販売部営業課事業方針

A-Reports

- | | | | |
|---|---|-------------------------------|----|
| ・会員会議で平成30年度事業を報告 | 3 | ・小学生・園児にきのご栽培をわかりやすく解説! | 8 |
| ・「第66回信州肉牛松本即売会」開催 | 3 | ・グループ会社が定時株主総会・通常総会を開催 | 9 |
| ・高原野菜のシーズン開幕! 南佐久野菜トップセールス | 4 | ・新採用職員紹介 | 9 |
| ・信州野菜トップシーズン! 大消費地で産地応援宣伝会 | 5 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ | 5 | ・8月の動き | 10 |
| ・農業女子応援 農業機械講習会 | 6 | ・8月のラジオ番組表 | 10 |
| ・長寿県・信州の農産物で「日本型食生活」を料理教室会員へPR .. | 7 | ・編集後記 | 10 |
| ・大阪販売事務所にて市場ときのご査定会を実施 | 7 | | |
| ・「JAまごころ宅配」運転免許証を返納された方へ
新規加入特典を開始 | 8 | | |



米穀課

令和元年度米穀課事業方針

令和元年度の重点推進事項

- (1) 元年産米集荷推進

①長野県本部米穀事業基盤強化対策を有効活用し、JA別集荷目標に向けて集荷数量の積み上げを推進します。

(2) 元年産米販売推進

①長野米販売計画(72,000トン)に基づく生産誘導及び販売を進めます。

②30年産米に引き続き、県本部買取米販売を実施します。

③卸売会社・実需者との連携のもと、事前契約の積み上げと複数年契約(33,000トン)の拡大を進めます。

④卸売会社・実需者との連携強化による新米販売を推進します。また、3月末販売進度50%を目標に早期販売を進め、販売経費の削減に努めます。

⑤「風さやか」は県内外での販売推進を図ります。酒造好適米は計画生産を進め、日本酒需要拡大を目的とした拡販を図ります。
- ⑥県内を中心に各種メディア活用およびキャンペーンを積極的に展開し、「長野米」の消費宣伝活動に取組みます。

⑦重点卸売会社と連携し長野米の輸出について継続推進します(年度目標300トン)。

⑧中期3カ年計画の「重点目標」として、効率的な紙袋輸送体制の整備を進めます。

(3) 長野米の生産性向上・品質向上・安全安心への取り組み

①関係機関と連携し多収栽培試験を実施し、業務用適性米生産の検証を行います。

②米穀集荷保管施設における環境美化の取組みを進めます。

③全農長野農産物検査室での品質調査を実施し、調査結果を有効活用し品質向上につなげます。

④残留農薬・ヒ素・カドミウムの化学分析検査とDNA検査等を行い、安全・安心の検証に引き続き取り組みます。

⑤長期的かつ多角的な視点での米穀集荷保管施設の体制を整備します。

(4) 需要に見合う水田作物の生産誘導対策と生産基盤変化への対応

①県・原種センターと連携し、長野県種子条例に基づく優良種子供給体制を構築します。

②水田営農の複合化(米+α)に向けた品目を推進します。

③ドローン等の利活用による、スマート農業技術への取組みを推進します。

(5) 農産物検査業務

①鑑定練習・技能確認会等の開催を通じて、農産物検査員の技術向上に取り組みます。

②JA長野県農産物検査協議会検査指導者部会員が中心となり、JA検査員への検査技術指導体制の構築および検査員育成を支援します。

(6) 麦・大豆・そば

①小麦の「シラネコムギ」「ゆめきりり」の代替品種は慎重に検討を進め、大

営業課

令和元年度生産販売部営業課事業方針

平成30年度品目別販売経過

平成30年度各品目の販売経過は次の通りです。

果実は、春先の温暖化の影響から生育が大幅に前進化したことに加え、気象災害もあり、企画面では非常に難しい年となりましたが、リンゴ、ブドウを中心に新規企画提案に努めました。野菜は、重点実需者を中心に契約取引による安定供給、責任供給に努め、あわせて業務加工用途向けの拡充や新規企画商品の提案を推進しました。

きのこは、事前企画提案の徹底と新規取引先の開拓をすめ、年間を通じて売場確保に努めました。

花きは、既存品目の取扱拡大や新規品目の提案に努めました。

以上のような販売の結果、取扱金額は137億5千万と前年比100%となりました。

令和元年度の重点取組事項

令和元年度は供給高計画を160億

円として、次の重点取組事項を設定し、計画必達を目指します。

1. 生産者手取りの最大化に向けた販売力の強化

(1)積極的営業展開により既存重点顧客および帳合先との関係を強化し、総合品目供給に向けた取引量および取引品目の充実と拡大を図り、事業計画160億円を達成します。

(2)既存の流通ルートに拘らず新規優良顧客の開拓を行い、産地および取引先のメリットを創出します。

(3)実需者への安定供給のため、市場流通も含めた多様な供給ルートを検討します。

(4)多様化する小売形態および需要変化に応じるため買取比率を高めます。

(5)産地に対する契約取引への理解度を深め集荷力を強化し、顧客の発注数量に応じられる商品供給力を強化します。

2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

(1)既存委託取引先との連携強化による産地パッケージ商品の新規創出を行います。

(2)カット・ジュース用果実原料専用圃場からの生産供給モデルの確立を図ります。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取り組み強化

(1)商談記録システムの活用による県本部内の情報共有(連携)を図り、より円滑な取引の実践と営業推進を行います。

(2)営業活動により得られた情報に基づき、新規品目・新規規格・商品企画の提案と供給ルートの開発を行います。

(3)生産振興部・生産購買部および関係部署との連携を強化し需要に応じた品目の生産振興と産地発信による品目提案を進め、産地開発と商品提案力を強化します。

4. 集出荷・輸送・荷卸の効率化

(1)小口輸送が困難なことから荷口集約

麦は「ホワイトファイバー」「シユンライ」の需要に応じた品種誘導を進めます。

②大豆は「ナカセンナリ」を主体とした銘柄検討および品質向上対策を進め、そばは県内の安定取引先への個別推進を図ります。



化および課題ある取引先に対し荷卸改善を要請します。

(2)直販取引におけるパレット輸送試験、モーダルシフト輸送検討に参画します。

(3)コスト抑制に向けたリパック品等の使用資材の見直しを包装資材課と連携し行います。

令和元年度営業課事業計画 単位：千円、%

大品目	元年度計画	30年度計画	30年度実績	前年計画対比	前年実績対比
直販果実	3,100,000	2,915,000	2,707,710	106	114
直販野菜	4,200,000	4,030,000	4,006,110	104	105
直販きのこ	5,915,000	5,625,000	4,733,414	105	125
直販花き	135,000	130,000	114,921	104	117
(直販合計)	13,350,000	12,700,000	11,562,155	105	115
加工製品	300,000	300,000	179,145	100	167
全農青果C	2,350,000	2,500,000	2,013,153	94	117
合計	16,000,000	15,500,000	13,754,452	103	116

会員会議で 平成30年度事業を報告

JA全農長野は6月27日(木)、JA長野県ビル・アクトイーホールで会員会議を開催し、平成30年度事業報告を行い、議案は全て原案どおり決定されました。合わせて本年度改選となる県本部運営委員会委員の選任が行われました。議案は全て原案どおり決定されました。

■平成30年度の事業概況

県農業の生産基盤強化では、地域農業を支える担い手の育成や農業法人などへの経営管理支援の他、「営農技術員サポートセンター」による品目別研修会を開催し、JAグループ全体で営農指導力の強化に取り組みました。信州ブランドの確立では、農畜産物等のオリジナル品目拡大のため、各種イベントを通じて総合宣伝事業を展開した他、生産流通コスト削減のため、肥料・農薬の農家直行品目の拡大



事業報告をする小林哲男県本部長

や農業機械のコスト低減に努めました。JA・県域一体となった生活事業の競争力強化では、共同運営斎場葬儀施行促進や生活組織店舗における物流効率化による収支改善に取り組ましました。

以上の結果、平成30年度県本部決算では、供給販売額(取扱高)は前年比3%減の2,763億円(統合33都府県本部の中でトップ)。販売事業は同4%増で1,735億円、購買事業は同1%増で1,016億円でした。

最優秀賞1席に JA松本ハイランド・三村勉氏

「第66回信州肉牛松本即売会開催」

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会は7月6日(土)、(株)長野県食肉公社で「第66回信州肉牛松本即売会」を開催しました。県内肉牛肥育生産者が丹精込めて育てた和牛30頭・交雑種30頭が出品され、和牛では4等級以上比率が96.7%(29頭)、交雑牛では3等級以上比率が56.7%(17頭)と、日頃の飼養管理技術の高さ

を証明した即売会となりました。和牛は、4等級以上の全てが信州プレミアム牛肉に認定されました。この60頭の肉牛は翌日に開催された長野県農協直販(株)枝肉即売会において、長野県A・コープ(株)をはじめ、県内外のお取引先様に販売され、各店舗や飲食店の店頭に並んでいます。



最優秀賞1席の三村さん(左)と最優秀賞2席の山口さん(右)に賞状を渡す畜産課の井出和士課長

第66回信州肉牛松本即売会 入賞者(敬称略)

賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席	松本ハイランド	三村 勉	和牛	去勢
最優秀賞2席	大北	山口 年春	和牛	去勢
優秀賞1席	松本ハイランド	(有)アグリランド松本	和牛	去勢
優秀賞2席	信州うえだ	信州小田切牧場	和牛	去勢
優秀賞3席	佐久浅間	高塚 賢一	交雑種	去勢
優良賞(順不同)	みなみ信州	岡田 敦子	和牛	去勢
"	みなみ信州	塩沢 和広	和牛	去勢
"	上伊那	加藤 忠志	交雑種	雌

即売会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	539.3kg	2,746円
和牛雌	501.0kg	2,375円
交雑種去勢	548.5kg	1,595円
交雑種雌	515.3kg	1,579円

(表紙右上の写真)最優秀賞1席に選ばれたJA松本ハイランド三村さんの枝肉

高原野菜のシーズン開幕！ 南佐久野菜トップセールス

南佐久野菜協議会(会長／由井和行 JA長野ハケ岳代表理事組合長)は7月2日(火)、東京都中央卸売市場・大田市場で、出荷最盛期を迎えた南佐久野菜のトップセールスを開催し、南佐久管内5町村の町村長およびJA代表者が出席しました。

会場には多くの市場関係者をはじめ、量販店の仕入れ担当者や買参人の皆様にお集まりいただき、南佐久野菜の展示や自然の豊かさをあらわした町村のポスターを掲示し、盛大に行いました。

東京荏原青果(株)と東京青果(株)の両会場で、同協議会の由井会長は、「来年オリンピックの年ということで安全安心な野菜作り、環境保全に配慮するJGAPに取り組んでいます。品質の良い野菜を引き続き提供していきます」と場内に向けてあいさつしました。JA全農長野の小林哲男県本部長は、夏場の全国トップ産地となる南佐久野菜を含めた長野県産青果物の日頃のご愛顧への感謝を伝え、市場流通におけるより強固な信頼関係の構築を確認しました。



(左)由井会長(JA長野ハケ岳 代表理事組合長) (右)小林県本部長



(東京荏原青果(株)会場／左より)井出高明 北相木村長、中島則保 南相木村長、大村公之助 南牧村長、黒澤弘 小海町長、藤原忠彦 川上村長、由井和行 JA長野ハケ岳代表理事組合長、大角和広 東京荏原青果(株)代表取締役社長、小林哲男 全農長野県本部長、太田久信 JA川上そ菜販売代表理事組合長、油井晴雄 JA川上物産代表理事組合長、井出文人 JA長野ハケ岳代表理事専務理事



試食メニューは主力品目のレタスを使用し「レタスの韓国風サラダ」を提供

信州野菜トップシーズン！ 大消費地で産地応援宣伝会

ＪＡ全農長野野菜花き課と県外販売事務所、県内事業所は、野菜産地ＪＡの協力をいただき、東京・大阪・名古屋の量販店で「信州野菜一斉消費宣伝会」を開きました。

6月29日(土)は東京名古屋、7月6日(土)は大阪で、ＪＡ長野八ヶ岳・川上物産・川上そば販売・佐久浅間・信州うえだ・木曽・信州諏訪・上伊那・みなみ信州・ながのの10ＪＡ47名の生産者とＪＡ職員の方々が、産地応援隊として3都市総計23店舗の店頭に立ち、来店したお客様に野菜の選

び方や食べ方の説明や、産地PRを行いました。売り場を訪れたお客様からは「長野県産の野菜はみずみずしくてとても美味しい」との声が多く聞かれ、試食を通じた食べ方の提案では「こんな美味しい食べ方があるんですね」と驚く方も多く、宣伝会を通じて産地PRはもちろん、各品目の魅力を存分にアピールすることができました。

野菜花き課では野菜消費の喚起と拡大を図るべく、今後も宣伝活動に取り組めます。



農業における女性の活動を応援

農業女子応援 農業機械講習会

長野県生産資材事業推進協議会農機専門部会 中信支部（事務局／ＪＡ全農長野中信事業所）は7月2日(火)、安曇野市の全農長野営農研修センターで「農業女子応援農業機械講習会」を開催しました。この講習会は農業機械の魅力を伝え、農業における女性活躍を応援する目的で企画したもので、県下でも初めての取り組みです。中信地区ＪＡを通じて参加申し込みされた女性20名が受講し、全員が農業機械の運転操作を体験し、20馬力クラスのトラクタと管理機の手にな使い方を習得しました。

てしまつて危険と隣あわせであることが薄れていた」などの安全意識を再確認する声も聞かれました。講師を務めたＪＡ農機担当者や農業機械メーカー担当者の親切・丁寧な説明のおかげもあり、多くの継続開催を望む意見をいただきました。女性の労働参加を拡大することには国内総労働供給の増加に効果を持たすと言われているなか、ＪＡグループは、農業においても活力ある女性の活躍を応援していきます。

大半の参加者がトラクタや管理機の運転操作が未経験で「初めてトラクタに乗ったが、思ったより操作が簡単だった」「数十年ぶりにトラクタに乗ったが、楽に運転できた」「女性にも運転ができる、楽しい」などの操作性を体感していました。また、「これから農業を始めようと思うので基本的な構造が理解できた」「服装や点検の重要性を感じた」「農機の扱いに慣れ



下伊那子山羊市場 年に一度の共進会とセリ

ＪＡみなみ信州畜産協議会、ＪＡみなみ信州、ＪＡ全農長野は7月11日(木)、飯田市の三尋石集畜場で「第70回下伊那子山羊市場」を開きました。

共進会には飯田下伊那地域を中心とする生産者がこの春に産まれた日本ザイン種の子山羊計20頭を出品し、審査を受けました。畜産技術協会や県飯田家畜保健衛生所の職員などが審査員を務めて体格や乳房、生殖器の形質などを審査。飯田市の一英明さんの雄子山羊が長野県知事賞に選ばれました。

表彰後に行われたセリには、北は若手県から南は大分県まで計18名の購買者が参加し、1頭ずつ競り落とされました。雌31頭の平均価格は76,900円で最高価格は198,000円、雄7頭は平均57,300円で最高86,000円と、全体の平均価格は昨年より34,600円の値下げとなりましたが、例年並みの価格が付きました。

ＪＡみなみ信州が管理する飯田下伊那の山羊は、一頭一頭が血統管理され、品種登録されています。今回で70回を迎えた伝統ある「下伊那子山羊市場」は、登記書付子山羊のみを扱う全国で唯一の競り市で、当歳の子山羊が離乳する7月上旬に毎年開催しています。



子山羊の審査



長野県知事賞を受賞した一さんの子山羊

第70回下伊那子山羊共進会 入賞者（敬称略）

	特別優秀賞	優秀賞	優良賞
雌の部	城田政治(阿南町)	川上健吾(下条村)	関島和人(飯田市)
雄の部	一 英明(飯田市) ※長野県知事賞	城田政治(阿南町)	原 幸雄(高森町)

長寿県・信州の農産物で「日本型食生活」を料理教室会員へPR

JA全農長野生産販売部は、6月20日(木)に東京・有楽町、26日(水)に大阪・梅田で「長寿県 信州の野菜・果物でベジフルアンチエイジング」と題した料理教室を開催しました。農産物の総合供給基地・信州としてのイメージづくりと、継続的な農産物の消費拡大に向け、全国に3万人の会員がいる(株)ホームメイドキッチンと連携。初開催した昨年の課題を踏まえ、今回は野菜の出荷最盛期に合わせた開催日としました(昨年度は12月開催)。「調理する人」をターゲットに、家庭で農産物を調理して食べるという食文化を伝え、継続的な消費につながる内容にするため、長寿県・信州のイメージを活かし、野菜・きのこの消費量が多い長野県の食べ方や、発酵食品の味噌や甘酒と農産物を組み合わせた料理を、ご飯を中心とした一汁三菜の「日本型食生活」として提案しました。



ご飯を中心とした「日本型食生活」を見直す訴求



講師の説明を熱心に聞く参加者

きのこをハンバーグのつなぎにしたり、冷凍して旨味をアップさせること、季節の農産物で味噌汁を具だくさんにしたり、浅漬けにしたり、たっぷり食べること、果物を毎日食べる工夫などを知っていただき、また、食卓に飾った県産花きのアレンジも、作った料理と一緒にSNSにより参加者以外へも拡散されました。

きのこ査定会で品質向上を

大阪販売事務所にて市場ときのこ査定会を実施

信州野菜推進協議会園芸部会とJA全農長野大阪販売事務所は7月9日(火)、きのこ査定会を開催し、大阪管内の市場担当者と全農長野の担当者など23名が出席しました。

現在の品質状況や産地間の品質格差を把握すると共にその内容を産地にフィードバックし、きのこ需要の高まる秋冬期に、より良いきのこの出荷につなげることを目的としました。

査定会では品目ごとの班に分

かれ、市場担当者の視点から「どのようなきのこが、商品性が高いのか」「どのようなきのこの需要期に向け、大変参考になる意見が多く出されました。

最後に、全農長野きのこの課の二木康次監理



ぶなしめじの査定

役より生産現場から見たきのこの品質について講評があり、販売のプロである市場担当者にとっても新しい知識の習得と、更なる目利き向上につながりました。

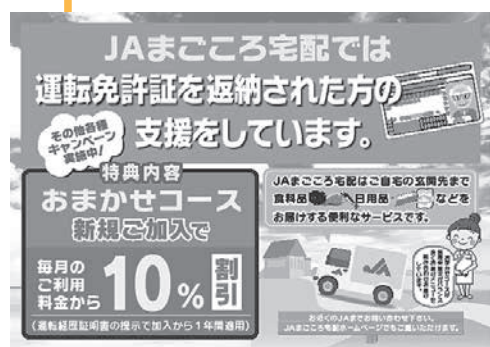
大阪販売事務所では今後もお客様から信頼され安定した高品質きのこを提供できるよう、販売側からの意見を産地へフィードバックできる機会を設け、生産技術向上に向けた協力体制構築に取り組んでまいります。

「JAまごころ宅配」運転免許証を返納された方へ新規加入特典を開始

「JAまごころ宅配」では、運転免許証を返納し、毎日の食料品やくらしに必要な日用品などのお買い物にお困りの方を対象に、おまかせコースの新規ご加入特典として、毎月のご利用料金から10%を割引くキャンペーンをスタートしました(加入から1年間適用)。

長野県警交通安全対策室では、各事業者に免許の自主返納者への返納特典の設置を要請し、『長野県警察シニアサポート制度』への加入を促進しています。今回、「JAまごころ宅配」においてもこの制度に加入しました。

長野県内では、平成30年に7,209人の方が免許返納をされ、前年度より346人増加していますが、65歳以上の車両所有件数は422,582件と多くの方が所有されているのが実態です。中山間地に在住の方にとって、自宅から離れた店舗や



病院、行政機関を利用するにも、自家用車をなかなか手放せない環境に加え、公共交通機関の便が少ないことやタクシーは日常的に利用するほどの手軽さを感じていないことも返納が進まない要因の一つとされています。

JAまごころ宅配で取り扱う生鮮品を中心にご自宅へお届けする便利な戸配サービスを、この制度を通じてお一人でも多くの方に知っていただき、お役に立てるよう今後も取り組んでまいります。

『えのきたけができるまで』小学生・園児にきのこ栽培をわかりやすく解説！

JA全農長野きのこ課では、小学生や園児に全国トップの生産量を誇る長野県産きのこに親しむを持ってもらえるよう、えのきたけの栽培工程を紹介するリーフレット『えのきたけができるまで』を作成しました。

JA全農長野農産物PRキャラクターの信州力(しんしゅうりき)を案内役に、「培地作り」や「接種」「芽出し」などきのこならではの工程の概略を説明し、「みんなのおうちへ」届くまでを紹介しています。また、傘や石突きといったきのこの独特の部位の名称や、保存方法など食材としての基本的な情報に加え、えのきたけはシャキシャキ、ぶなしめじはプリプリ、なめこはヌルヌル、エリンギはコリコリとおもしろさの重要な要素となる食感の特徴をあらわした表現を使い、JA産主力4品目の魅力を伝える内容も加えました。

県内外の教育機関やイベントなど

でのきのこ教室、店頭で実施するピン付ききのこのもぎ取り体験など食育活動の機会を通じ、活用していきます。



グループ会社が 定時株主総会・通常総会を開催

全農長野県本部のグループ会社ならびに（一社）長野県農村工業研究所の定時株主総会・通常総会が開催されました。令和元年度の常勤取締役・監査役は次のとおりです。

組織名		役員	氏名
株式会社全農長野計算センター	代表取締役社長	沖村 俊彦	
株式会社JAアグリエール長野	専務取締役 （肥料事業部・物流事業部（生産資材物流）担当）	石合 雅志	
株式会社マイバール長野	常務取締役（企画管理部担当）	松田 正隆	
	代表取締役社長	小林 寛久	
長野県農協直販株式会社	取締役	丸山 正道	
	代表取締役社長	青柳 茂樹	
	代表取締役社長	内田 信一	
	専務取締役（品質保証室・生産部・食肉部統括）	小澤 卓夫	
	専務取締役（鶏卵部・宅配部・食品部統括）	八木 栄一	
株式会社社長野エーコープサプライ	常務取締役（コンプラ推進室・企画管理部統括）	藤澤 喜久雄	
	取締役（食肉部長）	風間 勇一	
	取締役（品質保証室長）	北村 実	
	監査役	萩原 学	
	代表取締役社長	内田 正俊	
株式会社ジェイエイオート長野	専務取締役	藤原 光治	
	常務取締役（セレモニ事業担当）	横山 勝治	
	常務取締役（管理・物流事業担当、管理部部長）	山田 展靖	
	使用人兼務取締役（セレモニ事業担当部長）	山田 展靖	
	代表取締役社長	滝沢 新吾	
株式会社社長野県食肉公社	専務取締役（社内統括）	兼澤 隆	
	常務取締役（管理統括・管理部部長）	池田 邦雄	
	常務取締役（県域統括）	高島 永夫	
	使用人兼務取締役（販売部長）	和田 重孝	
	代表取締役社長	依田 秀樹	
一般社団法人長野県農村工業研究所	使用人兼務取締役（業務管理部部長）	清野 昭宏	武田 幸一

JA全農長野の事業現況

令和元年度 6 月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

区分	部門	実績	計画比	前年比
生産販売部計	野菜種苗センター	74	102	103
	米	4,304	98	103
	果実	599	90	79
	野菜花き	9,289	74	84
	きのこ	3,466	106	115
	営業	1,750	81	93
	生産販売部計	19,408	84	93
	包装資材	1,617	93	110
	生産資材	3,433	97	88
	農業機械	2,008	105	95
生産購買部計	施設住宅	1,151	100	123
	生産購買部計	8,209	98	98
	畜産	3,442	105	100
	三岳牧場	80	109	105
	SPF繁殖センター	75	100	98
	酪農	4,302	97	98
	ハケ岳牧場	63	100	102
	畜産酪農部計	7,962	101	99
	燃料・ホームエネルギー	6,143	109	104
	SS協同経営	2,831	104	99
生活部計	生活	3,082	102	102
	生活部計	12,056	106	102
長野県本部計		47,709	94	97

(内部販売高含む)

8月の動き

実施中～ 8月12日(月・振休)	長野県JA産きのごキャンペーン	きのご課
実施中～ 8月18日(日)	長野県産夏やさいキャンペーン	野菜花き課
8月31日(土)	松本山雅FCホームゲーム イベント(ナシ・プルーンPR) サンプロ・アルウィン(松本市)	総務広報課

8月のラジオ番組表

JFN38局ネット(長野県内はFM長野)
「あぐりずむ」8月の最終週は、長野ウィーク!

放送日時		放送内容(予定)	
8月26日(月)	14:20～14:30	あぐりずむ	ナガノパープル
27日(火)	//	//	ハクサイ
28日(水)	//	//	えのきたけ
29日(木)	//	あぐりずむ につぼんおむすび便り	お米
31日(土)	9:00～9:20	あぐりずむ WEEKEND	シナノリップ

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
8月1日(木) 10:13	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	プルーン(未定)
8月8日(木) 10:13	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	モモ(JAグリーン長野)
8月22日(木) 10:13	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	りんごシナノリップ(JAあづみ)
8月28日(水) 11:50	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	生活課出演
8月29日(木) 10:13	SBSラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	ナガノパープル(JAながの)
毎週火曜日 16:10	SBSラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品に関する様々な情報をお届け。リスナープレゼントもあります。

編集後記

今年の梅雨明けは、昨年6月29日に比べだいぶ遅くなり低温・日照不足をまねき、農産物へ影響を与え今後も心配です。

さて先日、交通安全にかかわる講習会に参加しましたので、県内の交通事故概況についてお知らせしたいと思います。平成30年度県下交通事故件数7,251件・前年より701件減少、平成17年から14年連続で減少しており、負傷者数及び死者数も前年に比べ減少しています。交通事故死は66人・前年より13人減で、高齢者38人の構成比58%となっています。原因別には、前方不注意27・3%・安全不確認26・0%、計53・6%を占めています。通勤・業務中の事故は40%弱の状況であり、ルールを守った運転、危険を予知した運転を心掛けていかなければいけません。夏の交通安全やまびこ運動は7月31日まで、夏の暑い時期今まで以上に自動車運転に注意を心掛けましょう!

御嶽海は名古屋場所(7月21日千秋楽)で、期待に迎え9勝6敗と勝ち越し、三役在位を16場所連続と伸ばし、次の場所へも期待が高まります。

(Y)

新採用職員紹介

【南信事業所 生産販売課 原田 素輝^{はらだ もとき}】

本会に入会してもう少しで3ヶ月が経とうとしていますが、この3ヶ月は本当にあっという間でした。長野県内外問わず様々な場所に連れて行っていただき、様々な経験をした非常に濃い3ヶ月だったと思います。同時に、自分の未熟なところも数多く見えた3ヶ月でした。これからも日々前向きに、学んで生きたいと思います。



花を飾って潤いのある生活を!

【東信事業所 営農資材課 涌井 達哉^{わくい たつや}】

はじめまして。東信事業所営農資材課の涌井達哉と申します。出身は高山村です。実家ではリンゴとブドウを作っており、ブドウ畑が遊び場でした。長野県で育ったことを誇りに、長野県の地域の方に貢献できればと思い入会いたしました。今は勉強の毎日ですが、少しでも早く組合員の方の力になれるようがんばります。よろしく願いいたします。



肥料農薬の業務がんばります!

グリーンリーダー8月号（毎月発行） 2019年7月20日発行 第483号
 発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人／小林哲男 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3

信州の農畜産物



ごつつあんです

JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

